



# 御学校だより

2026年6月2日  
藤沢市立御所見中学校  
校長 山田 大

## 爽やかに、熱く、輝いた体育祭

～「エージェンシー」「エラー＆ラン」に満ちた挑戦～

5月25日（月）爽やかな晴天の下、第76回体育祭が行われました。雨のため金曜日から延期となりましたが、絶好の体育祭日和となり今年度のスローガン「珠躍（しゅやく）」のように、誰もが熱く輝く姿が見られました。

卒業式と体育祭は毎年「今回が1番」と思わせてくれる行事ですが、今回も私の中では「今までで1番の体育祭」となりました。その理由として「エージェンシー」という言葉が関係しています。この言葉の意味は「変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力」となります。

今回の体育祭では、「入場行進」が復活しました。生徒から「やってみたい」と申出があり、先生から「やるからには、しっかりやれ!」という条件を与えられ、実現しました。

よりよい体育祭を目指し、生徒自ら変化を起こす計画を立案し、責任ある行動で成し遂げる、まさに「エージェンシー」を体現する体育祭となりました。

「生徒が中心となって運営する体育祭」に取り組んで3年目を迎えます。特に3年生はブロック長や種目長が中心となってブロックをまとめ、実行委員や係りは運営をリードしていました。それを支える2年生、1年生の頑張りも素晴らしく、体育祭という行事を通して学校全体の一体感を感じました。各ブロックの競技中の応援も例年以上に盛り上がっていました。

当日だけを見ると、進行もスムーズで良い部分ばかり目に付きますが、ここまで来るのにトラブルや失敗も多くあったと聞いています。先生から注意を受けたり、意見の対立や思いどおりにいかないことで悩んだり。しかし、それこそが「生きる力」を育むための大切な学び「エラー＆ラン」になっていると考えます。

昨年と同じでいい、勝っても負けてもどうでもいい、やりたい人だけやればいい…。そんな気持ちで臨んでいたなら、今回の体育祭のような感動は生まれなかったでしょう。優勝したい、勝ちたい、団結したい、楽しみたいと思うからこそ、そこに苦しみや試練、失敗や挫折があり、乗り越えたときの達成感も味わえるのだと思います。

全力で取り組み、楽しみ、失敗から学んだことを体育祭だけで終わらせるのは、もったいないですね。体育祭で高めた団結力や行動力、思いやりや挑戦する心を今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



## 学校は、いいことばかりじゃないけれど…

～学校は家庭では体験できない「嫌なこと」を体験できる素晴らしいところ？～

学校では、自分の家にいるときには感じない「嫌な思い」をすることがあります。そもそも学校に行くこと自体が嫌、という人もいるでしょう。

私を含めた先生達は、学校が生徒にとって「安心・安全な居場所」であり、誰もが自分の夢や希望に向かって「生きる力を育む場所」になるよう、取り組んでいます。

しかし、先生に注意されたり、友達とケンカしたり、嫌いな授業を受けたり、定期テストや実技テストがあったり、細かいルールがあったりとストレスを感じる場面は家にいるときの何倍もあるでしょう。中には学校は楽しいことばかりで何のストレスも感じないという人もいるかも知れませんが…。なぜ、嫌な思いをする学校に来なければいけないのか、考えたことはありますか？

ちょっと発想を変えて、科学技術（AIなど）が進歩したら、学校に通う必要はなくなるのでしょうか？家から一歩も出ずにリモートで授業を受け、美術・音楽・保健体育・技術家庭なども家にいながらできる、そんな「未来の学校」ができるのでしょうか？私は絶対にそんな時代は来ないと思います。

学校に来れば、自分にとって嫌なことは必ず起こります。嫌なことをがまんしろと言っているわけではありません、嫌なことは嫌と思っていいし、誰かに相談したり頼ったりしても構いません。嫌なことが起こったその時にどのように考え、どのように行動するかが重要です。嫌なことを解決するのも「生きる力」だと思っています。

学校は家庭では体験できない「嫌なこと」を体験できる素晴らしいところ？だと思いませんか？



## 小・中学校合同「防災引き取り訓練」

～まずは「やてみよう」精神で、反省を生かし実際に生きる訓練に～

5月27日（水）に御所見小学校・中里小学校と合同で大規模地震を想定した「引き取り訓練」を実施しました。初めての試みだったので、地震発生や引き取り開始の時刻を揃えたり、「すぐーる」で連絡を流すのか、自転車で来校していいのか、など色々と試行錯誤しながら準備を進めました。地震は小中学校関係なく同時に起こるものですから、今回の反省を生かして、より実際の被害を想定した現実的な訓練となるよう改善していきます。



# 御所見・中里地区学校運営協議会

## ～地域全体で育てる地域の宝～

5月28日(木)御所見中学校で令和8年度第1回「御所見・中里地区学校運営協議会」が行われました。この協議会は地域・保護者の委員と小中学校の校長が集まり、御所見・中里地区の子どもたちの健やかな成長を願い、よりよい教育活動や保護者・地域との連携を話し合うものです。

2年前までは、各校で別々に行っていた協議会を昨年から三校合同で開催しています。今までは、それぞれの学校の課題や成果について、保護者の方や地域の方から助言をいただき、学校の様子・要望等を伝えていました。三校合同となったことで、学校・保護者・地域が一体となって、地域の子どもたちをみんなで育てていこう、という意識が高まり、より具体的な取り組みが提案されたり、委員の所属する団体・組織とのネットワーク・連携も広がっています。

今後、より一層この協議会で検討されたことを学校の教育活動に生かし、この地域の子どもたちの豊かな学びにつなげていきたいと考えています。

